

令和5年度 恵那北小学校だより

4月20日号

げんきたっ子



「進んでできる子」をめざして

校長 市川 伸美

春の訪れが例年より早く、山桜や新緑が周りの山を彩り始める中、令和5年度を迎えました。

新1年生9名を迎え、全校児童57名で今年度がスタートしました。登校時に、1年生を車道と反対側にして手をつなぐ高学年の姿、「学校は楽しい!」と笑顔で話す1年生の姿に、ほっこりと心が温まります。

コロナ禍からウィズコロナの時代となり、1年生を迎える会も全校が体育館に集合して行うことができました。にぎやかに全校遊びを楽しみ、どの学年の子も笑顔がいっぱいでした。今年は、これまでオンラインで行ってきたことも参集して実施できることで、子供たちの主体的な活動がしやすくなります。

恵那北小学校の教育目標は『進んでできる子』です。

『よく考える子』『やさしい子』『たくましい子』として子供たちが仲間と共に自分を磨き、みんなの笑顔の花がたくさん咲いて、今年も笑顔と感謝のあふれる学校にしたいと考えています。

始業式と入学式に、子供たちには次のような話をしました。

「言葉にして伝えましょう。なかよしになる魔法の言葉『ありがとう』と『ごめんなさい』」

仲間と協力するためには、自分の思いを進んで言葉にして伝え合うことも大切です。集団生活のルールを守りながらも、個性を認め合える仲間づくりを大切にしていきます。

地域とともにある恵那北小学校は、保護者の皆さんや地域の皆さんと手を携えて子供達の成長を支えていきたいと考えています。今年度も、ご指導ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



恵那市在住の書画家伊藤一樹さんより
寄贈していただきました。



入学式



1年生を迎える会